

## 外国語活動 学習指導案

- 1 単 元 名：時間割を作ろう（第1限目） 第 5 学年 2 組
- 2 使 用 教 材：\_\_\_\_\_（英語ノート50・51ページ）
- 3 本時のねらい：外国の小学校でどのようなことを学習しているのか知るとともに，教科の言い方を知る。
- 4 本時の展開

時間	学習内容	指導者の活動 児童の活動	指導上の留意点 準備
5	挨拶をする。 各教科の英語での言い方を知る。	挨拶をする。 日本の国旗絵カードを黒板にはり，日本の小学校で学習されている教科を，児童が使用している教科書を見せながら紹介する。	全体で挨拶をした後，数人の児童に今日の自分の状態や気分を尋ねる。
10	A L T の国の小学校ではどのような学習をしているか聞く。	A L T は母国の小学校で学習している教科について紹介する。	日本以外の国で学習されている教科に興味を持たせるようにする。
10	Let's Listen をする。 ・CD を聞き，それが何の教科かを考え，英語ノートに書き込む。	CD を聞き，それが何の教科かを考え，英語ノートに書き込むように指示する。	
10	Activity 1 をする。	CD を聞いて，その教科書を見つけるように指示する。	
5	Chant: What do you study? をする。 Let's Sing をする。	チャンツを言う。 Let's Sing を一緒に歌う。	何度も繰り返し聞いたり，言ったりすることで教科の言い方に慣れるようにする。
5	自己評価カードを書く。 挨拶をする。	児童の1時間の態度面についてよかったことを言う。 挨拶をする。	学級担任とA L T が児童のよいところを認めることで外国語活動に対する意欲をもたせる。

### 5 評価規準

- ・日本以外の国の小学校で，どのような教科が学習されているのか興味をもって聞く。

### 6 指導後の反省点等

自己評価カードを書くことによって児童が活動に対してどのように感じているかわかった。次は児童が自由に書き込めるスペースを作り，よりよい活動につなげるようにする。

## 外国語活動 学習指導案

- 1 単 元 名：時間割を作ろう（第2限目） 第 5 学年 2 組
- 2 使 用 教 材：\_\_\_\_\_（英語ノート52・53ページ）
- 3 本時のねらい：教科の言い方や曜日の言い方が分かる。
- 4 本時の展開

時 間	学 習 内 容	指 導 者 の 活 動 児 童 の 活 動	指 導 上 の 留 意 点 準 備
5	挨拶をする。	挨拶をする。	全体で挨拶をした後，数人の児童に今日の自分の状態や気分を尋ねる。
5	Let's Sing をする。	曜日カードを指し示しながら歌を紹介し，一緒に歌う。	曜日カード ゆっくり歌ったり，速く歌ったりする。
10	Chant: What do you study? をする。	黒板に教科カードを掲示して，言えるようにする。	教科カード 児童がリズムに乗って言えるようにタンプリンを使う。  最初は例文どおりゆっくり言えるようにし慣れてきたら教科や曜日を入れ替えたり，速さをかえたりして何度も声に出せるようにする。
10	カルタ取りゲームをする。	絵カードを使ってカルタ取りゲームをすることを告げる。	巻末絵カード 出題するスピードを速くしたり，遅くしたりするなど工夫してゲームを楽しめるようにする。
10	Let's Listen 「時間割を聞き取ろう」をする。	Let's Listen を使って出し，空いている時間割に教科を当てはめる。	
5	自己評価をする。  挨拶をする。	児童の1時間の態度面についてよかったことを言う。  挨拶をする。	児童のよいところを認めることで外国語活動に対する意欲をもたせる。

### 5 評価規準

- ・教科名や発音が日本と英語では違うことに気づく。
- ・教科の言い方や曜日の言い方に慣れる。

### 6 指導後の反省点等

教科名，曜日名を理解することは児童にとって困難なことであり，覚えていないとゲームに参加しようという意欲もなくなってしまふ。という前時の反省を生かして，何度も繰り返し言ったり，ゆっくり言ったりする活動を増やした。自己評価から教科名・曜日名を自信をもって言える児童が増えたことがわかった。

## 外国語活動 学習指導案

- 1 単 元 名：時間割を作ろう（第3限目） 第 5 学年 2 組
- 2 使 用 教 材：\_\_\_\_\_（英語ノート54・55ページ）
- 3 本時のねらい： オリジナル時間割をつくる。
- 4 本時の展開

時 間	学 習 内 容	指 導 者 の 活 動 児 童 の 活 動	指 導 上 の 留 意 点 準 備
5	挨拶をする。	挨拶をする。	全体で挨拶をした後，数人の児童に今日の自分の状態や気分を尋ねる。
5	Let's Sing をする。	曜日カードを指し示しながら歌を紹介し，一緒に歌う。	曜日カード ゆっくり歌ったり，速く歌ったりする。
5	Chant: What do you study? をする。	黒板に教科カードを掲示して，言えるようにする。	教科カード 児童がリズムに乗って言えるようにタンプリンを使う。
10	Let's Listen 「どの教科の先生か聞き取ろう」をする。	英語ノート54ページの3人の教師の様子から，何を教えているかを推測するように言う。	
15	Activity 自分たちの時間割を作る。	グループでオリジナル時間割を作るように指示する。	オリジナル時間割作成とその発表を通して，児童に自分の思いを相手に伝えたいという気持ちを高めるようにする。 巻末絵カード
5	自己評価をする。  挨拶をする。	児童の1時間の態度面についてよかったことを言う。  挨拶をする。	児童のよいところを認めることで外国語活動に対する意欲をもたせる。

### 5 評価規準

- ・グループでオリジナル時間割を，理由を考えながら作成する。

### 6 指導後の反省点等

チャンツと曜日歌を毎時間繰り返すことで自信をもって言えるようになってきた。オリジナル時間割作りではグループで担当する曜日を決めて，作成を楽しんでいた。日本以外の国の教科に関心を持つために，日本では学習していないが，他の国では学習している教科を入れるともっと個性が表れた時間割になったと思う。